

## 令和元年度第3回 福知山市立図書館協議会 議事録（要旨）

開催日時：令和2年3月3日13時33分～15時10分

開催場所：福知山市立図書館中央館 2階研修室

出席委員：谷垣委員長、仲野副委員長、青木委員、山路委員、荻野委員、塩見委員、  
安川委員、善積委員、木村委員、神谷委員、芦田信委員

欠席委員：芦田敦委員

事務局：浅田館長、森本次長、大槻次長、岸田係長

傍聴者：なし

議題：（1）令和元年度図書館事業報告について  
（2）令和2年度社会教育の重点について  
（3）図書館と小中学校・幼稚園との相互連携について  
（4）その他（報告事項等）  
・新型コロナウイルス感染症対策について

---

1 開会挨拶：谷垣委員長

2 前回会議録の承認

3 協議事項

### （1）令和元年度図書館事業報告について

～資料に基づき、事務局から説明～

委員：視察について、遠く秋田県から来られた目的は。

事務局：複合施設建設の計画案策定のため、市の企画部門の職員が図書館を含め交流プラザ全体を視察された。本市を選定された理由は、交流プラザの建設に関わった企業が、湯沢市の計画でも関わっていることから勧められたと聞いている。

委員：視察の際、各団体からはどのような評価があったか。

事務局：建物など設備面や、立地条件をお褒めいただくことが多い。公式な視察ではないが、「明智光秀コレクション」のチラシを福知山城やミュージアムに置いており、観光で来られた方がチラシを見て、帰りに図書館へ立ち寄られる方もある。先日は大阪の市議員がプライベートで来られた際に感嘆され、「地元に戻ったら、図書館の大切さの働きかけを行う」と話されていた。宮津市は、障害者サービスやボランティア団体、市の他部署との連携等について福知山の状況を参考にすることも含めて視察に来られた。

### （2）社会教育の重点について

～資料に基づき、事務局から説明～

事務局：前回の協議会で内容の検討をお世話になり、委員の皆様からいただいたご意見を反映して、来年度の目標を掲げた。図書館としての裾野を拡げ、あらゆる世代の課題解決のみならず、ゆっくり寛いでいただける場所としての図書館を目指していきたい、ということ盛り込んだ。この大きな目標に向かって、来年度の図書館業務を進めていきたい。

委員：図書館の大きな使命に変わらないが、その年によって彩りが出て当然と思う。前回と同じ内容ではなく、少しずつ変えてほしい。

### **(3) 図書館と小中学校・幼稚園との相互連携について**

～資料に基づき、事務局から説明～

事務局：教育委員会において、教育委員から図書館と小中学校との間でどのような連携を行っているかお尋ねがあり、現在の連携事業を紹介したところ、さらに連携を進めてはどうかとの意見をいただいた。それを受けて、先日の校園長会議で別紙アンケートを配布し、各学校・幼稚園からの意見を求め協力をお願いしている。現時点で2校から回答を得ている。

委員：小中学校との連携については、この協議会からもさらなる取組みを行ってはどうかと意見が出ていたこともあり、今回のアンケートに繋がった経緯もある。

事務局：毎年4月の校園長会議で、連携して図書館活用を進めていくための話を行っている。今回は先生方のご要望を伺い、より図書館を使いやすくするために、初めて年度末の2月にアンケートを実施した。先生方は大変お忙しいので、図書館側から寄り添えるようなサービスができれば、という思いもある。青木委員には、このアンケート実施にあたり色々とアドバイスをいただいた。

委員：これまでも様々な連携をされていたと思うが、新しい試みをすることで、浸透するものもある。話題は変わるが、先日久しぶりに紀伊國屋書店へ行った。書店も本を並べるだけでは潰れていく時代である。そこには書籍だけでなく様々な情報があり、民間のカルチャーセンターのような印象を受けた。都会で生き残りをかけている書店は人でいっぱいであり、力を入れるとそれだけの効果は得られる。展示方法など本だけに限らず、そこへ行けば情報の糸口が見つかるような手法に徐々に刺激を受けた。ネットでは欲しいものがピンポイントに買えるが、書店に行けばワクワクする。アナログの方が面白いものが買えると実感した。

### **(4) その他**

#### **・新型コロナウイルス感染症対策について**

～資料に基づき、事務局から説明～

事務局：新型コロナウイルス感染症対策として今日から市内の学校が休校となり、本日午前中の様子は、親子で本を借りに来る姿が通常の平日より多くなったと感じる。ただし学校から不要不急の外出を控える通知が出ているので、小中学生だけの自習など長時間滞在している子どもには声掛けを行う。全体的に貸出は増えているが、滞在は普段よりも少ない。消毒液は枯渇しており、注文してもいつ入るかわからない状況。府内の休館状況は昨日4館だったのが、今日は8館に増えている。当館の休館の判断に関しては、図書館だけでなく福知山市全体の公共施設として考えねばならない問題であり、方向性として市内に感染者が出なければ、公共施設の開館を継続することになる。図書館としては、①通常開館、②閲覧席を閉鎖して貸

し借りのみ実施、③全面休館、の3段階を考えている。利用者からは電話やカウンターで開館状況の問合せが多い。図書館ホームページにも開館情報を掲示しており、今後の状況に合わせた体制の準備を進めている。

委員：本と閲覧機の拭きとりに使用しているものは何か。

事務局：本はセスキ炭酸ソーダ、閲覧席は市販の中性洗剤を使用し、それぞれ拭きとりを行っている。今回の感染症対策として始めたのではなく、汚れ落としの目的で常日頃から実施している。

委員：ノロウイルスに効果がある塩素系の漂白剤を使用してみてもは。自治体によっては消毒液の代替手段として使用されているところもある。中性洗剤は濃度によっては水分が残る可能性があるため、漂白剤を少し入れてみては。

事務局：ご意見を参考に、状況に応じて中身を変えるなどの対応を行っていく。

事務局：コロナウイルスに関連して、市の公共施設の状況は日々変わっていくことが考えられる。今後、図書館が休館するようなことがあれば、図書館ホームページでお知らせします。

委員の皆様方には、2年間大変お世話になりました。任期は5月末までとなります。今後ともお力添えくださいますよう、よろしくお願いいたします。

## 6 閉会挨拶：仲野副委員長